

本学ではこれまで3ポリシーの整備や教育課程の改定、FD推進など、全学的に教育力向上の取組を進めてきた。更に平成28年3月に学長方針「適正な成績評価基準に基づく厳正な成績評価の実施」を示し、各授業科目のミニマム・リクワイアメントの明確化、教育の最低限の質確保の取組に着手した。

本事業では、これらの改革を更に加速するため、独自の「ディプロマ・サプリメント・システム」を構築し、学生の学修成果を可視化すると共に、システムを用いて教員が個別面談を行い、学生の自律的学修を促す修学指導を行う。また、外部人材と協働で、在学中の学修成果をまとめたディプロマ・サプリメントを開発し、就職活動等での活用を目指す。更に全教職員を巻き込み、社会のニーズに合う質保証と教育改善サイクルを全学的に確立する。

